

國立臺灣大學圖書館典藏
日文善本解題圖錄

Selective Annotative Bibliography of
Japanese Rare Books Collection of
National Taiwan University Library

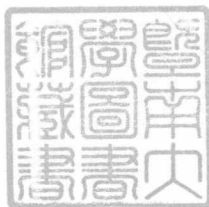


國立臺灣大學圖書館
NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY LIBRARY

Z838
20112

國立臺灣大學圖書館典藏 日文善本解題圖錄

Selective Annotative Bibliography of
Japanese Rare Books Collection of
National Taiwan University Library



國立臺灣大學圖書館

NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY LIBRARY

國家圖書館出版品預行編目資料

國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄 = Selective annotative bibliography of Japanese rare books collection of National Taiwan University Library / 松原孝俊主編；洪淑芬，邱慎，林芷安翻譯. -- 初版. -- 臺北市：臺大圖書館，2009. 12

面；公分. -- (臺大典藏圖錄；2)

參考書目：面

含索引

ISBN 978-986-02-1099-6 (精裝)

1. 解題目錄 2. 善本書目 3. 書影 4. 江戶時代

011.586

98022218

國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄

Selective Annotative Bibliography of Japanese Rare Books Collection of National Taiwan University Library

臺大典藏圖錄 2

發行人 陳雪華
出版者 國立臺灣大學圖書館
臺北市 10617 羅斯福路四段一號
(02)3366-2326
tul@ntu.edu.tw

主編 松原孝俊
監修 中野三敏
解題 入口敦志 漢那敬子 龜井森 花田富二夫 藤島綾
宮崎修多 和田恭幸 (依姓氏假名順序)

編輯 洪淑芬
翻譯審訂 陳明姿
翻譯 洪淑芬 邱慎 林芷安
影像攝製 陳淑敏 馬竹青
出版行政 邱婉容 馬竹青
印製 海王印刷事業股份有限公司
出版日期 2009 年 12 月 初版
定價 NTS800
統一編號 1009803665
I S B N 978-986-02-1099-6
版權所有 翻印必究

ISBN 978-986-02-1099-6



9 789860 210996

序

國立臺灣大學圖書館配合本校教學研究發展之需要，致力於教學與研究相關資源之蒐集、整理與提供使用。圖書館典藏臺北帝國大學時期購入之多種專藏文庫，但此類特藏資料因為資料狀況與語文之限，利用有限。近年來臺大圖書館積極推動圖書館事業，除了傳統的圖書館服務之外，更積極應用科技，或透過數位資料庫的建置、或透過目錄整編、或透過全文刊印等方式，提昇館藏資料查詢與利用上的便利性。因此，對於原來較罕為人知與利用的珍貴專藏文庫，陸續著手整編。本書『國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄』即為本館館藏珍本圖錄系列出版品中的第二種。

『國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄』乃是繼本館出版『田中文庫目錄』、『大鳥文庫目錄』、『國立臺灣大學典藏古碑拓本：臺灣篇』、『長澤伴雄歌文集 絡石の落葉』等之後的另一館藏相關專書。本解題圖錄透過邀集日本文學與琉球史之多位學者共同合作，為所遴選出之日文善本逐一撰寫版本與日本國文學史相關之解說。吳明德教授任本館館長期間，基於嘉惠國內外學者之研究的理念，透過簽署本出版合作案，敦請日本九州大學日本海外典籍書目調查團團長松原孝俊教授與中野三敏教授（日本近世文學、版本學專家）領隊進行書目資料之整理並撰作有關版本與內容之深度解說：首先自本館眾多的日文古籍典藏中精選善本，再由松原、中野兩位教授指定專家，為精選書籍逐一製作書目資料與撰寫解題，並由本館負責解題中譯、珍本影像攝製、各種索引編製、名詞解釋之整理、年表製作、印刷稿排版等各部分工作。為求內容達到最高確實度，各部分工作在編輯過程中

國立台灣大學圖書館は、大学の発展計画と歩調を合わせて、関係資料の収集・整理、提供等に努力してきました。本館は台北帝国大学時期に購入した多種の貴重書を所蔵していますが、これら貴重資料は資料保存状況などによって、自ずと利用が制限されていました。しかし近年、本館では図書館事業を積極的に推進し、基本サービスの他に、ITを応用したデータベースの構築や目録編集、全文刊行を通して、検索システムや資料利用の利便性を追求しています。そして本来あまり知られていない、利用が限られていた貴重書の再編集にも取り組んでいます。『国立台湾大学図書館典藏日文善本解題図録』は本館珍藏図録出版品の第二種にあたります。

『国立台湾大学図書館典藏日文善本解題図録』は『田中文庫目録』を始め、『大鳥文庫目録』、『国立台湾大学典藏古碑拓本：台湾篇』、『長澤伴雄歌文集 絡石の落葉』などに続いて出版された書物です。日本文学や琉球史の専門学者らの協同作業によって執筆された本解題図録は、すべての貴重書に、その書誌的特徴などを解説しています。吳明德教授が本館館長在任の期間、国内外の学者の研究に役立つような書籍を出版したいという信念で、本解題図録の協同出版を提案しました。そして合意書の下、九州大学日本海外典籍書物調査団長松原孝俊教授と中野三敏教授（日本近世文学専攻・板本学の専門家）に、書誌の整理と版本及び解説を依頼しました。まず本館所蔵の多数の日本典籍から善本を精選した後、松原・中野両教授が指名した専門家によって書誌データや解題の作成を行い、最終的には本館が解題の中国語訳、貴重書画像の撮影、各種の索引の編集、グロッサリーの整理、年表の製作、印刷用稿の作成などの作業を担当しました。それぞれの項目に最高水準の質を追求した事もあり、編集作業の困難さは

均經過數度校核，過程艱辛，不可言喻。

本書之刊行，是在吳明德館長於 2002 年 3 月簽署合作編輯本圖錄之合作合意書之基礎下，項潔館長與九州大學圖書館於 2003 年 10 月簽署兩館交流協定，持續督促，至今終能有成。對於歷任館長之規劃理念與督促之功，在此謹表敬意。而對於多年來，為此合作專案不辭辛勞與路途遙遠，數度前來本館進行書目製作、解題撰寫與審校相關工作的諸位日本學者與教授，更充滿感激與敬佩之情，在此謹對松原教授、中野教授以及宮崎修多、入口敦志、和田恭幸、花田富二夫、龜井森、藤島綾、漢那敬子等諸位教授與學者專家不吝知識分享而竭力協助，致上由衷的謝忱。

本解題圖錄相關之日文古籍均為臺北帝大時期所購入。帝大時期該批圖書提供研究者外借，且圖書庫房於二次大戰期間部分遭空襲毀損，受毀的圖書庫房復遭雨水之害，使得部分珍藏或因外借未歸還、或因戰火波及而損佚。對於大部分珍藏能於空襲中倖存，我們除了深感幸運，更在此圖書館事業因資訊科技而邁入新紀元的此時，期許圖書館善用資訊科技，積極推動此類國際合作；如本解題圖錄之編輯一般，讓國際合作從資訊交流提昇為知識分享，充分落實本校推展國際交流之理念。

國際合作之外文相關書刊之編輯，所需投入之人力時間非比尋常，對於負責本專案之本館特藏組邱婉容主任、前特藏組夏麗月主任與梁君卿主任、洪淑芬編審、馬竹青、陳淑敏等同仁、負責中文翻譯審訂的陳明姿教授、以及邱慎、林芷安、高啓豪、簡淑君等之協助，在此一併致謝。

國立臺灣大學圖書資訊學系教授兼
圖書館館長 陳雪華 謹識

筆舌に尽くしがたいものでした。

本図録の刊行は、吳明德前館長が 2002 年 3 月に協同編集合意書の署名後、2003 年 10 月に次の項潔前館長が九州大学図書館との間に両館交流協定を締結したことによって、結実しました。この場を借りて、改めて歴代館長の信念と貢献に敬意を表する次第です。そして、この協同編集の意義に賛意を表明して、台湾と日本を往復して、書誌や解題の執筆・編集に尽力くださった日本の学者にも感謝と尊敬の意を表します。特に松原教授と中野教授を始め、宮崎修多教授、入口敦志教授、和田恭幸教授、花田富二夫教授、亀井森先生、藤島綾先生、漢那敬子先生等、先生方の惜しみ無い知識供与・貢献にも深甚の謝意を表します。

本図録に関係する日本典籍は全て本館が台北帝国大学附属図書館であった頃に購入したものです。しかしながら台北帝大当時の文庫資料管理では教授や研究者に稀本・珍書の貸出を許可しており、また、第二次世界大戦で書庫の一部が空襲によって破壊され、その後も雨水の被害に遭いました。こうした理由で、貴重書の一部が散逸、或いは損失しましたが、大半の蔵書が残存していることを幸運に思う一方、新たな時代を迎えて、IT 化を積極的に進めるとともに、さらなる国際的協同作業に着手したいと存じます。本解題図録の協同編集のように資料の交流だけでなく、やがては知識の共有にまで分野を広げ、本学国際交流の理念を十分に実践することを願ってやみません。

外国語関連書物の国際協同編集は多大な人力と時間を要する作業です。最後に、本件の担当者である特藏組主任邱婉容氏、前主任の夏麗月氏と梁君卿氏、そして洪淑芬編集長を始め馬竹青氏、陳淑敏氏等スタッフ陣、翻訳や審査に取り組んだ陳明姿教授、及び邱慎氏、林芷安氏、高啓豪氏、簡淑君氏等のご尽力併せてここに謝意を表します。

国立台湾大学図書資訊学系教授兼
図書館館長 陳雪華

刊行の祝辞

このたび、『国立台湾大学図書館典藏日文善本解題図録』が完成したと聞き、またその調査・研究・善本選定・目録作成に当たり、九州大学がいささかでも貢献できたことは、1998年から約9年間にわたり九州大学の附属図書館長を務めた者として感慨無量であります。

台湾大学が所蔵しておいでの日本文籍の大部分は、かつて日本が台湾を統治していた時期に建設された台北帝国大学時代に収書されたものであります。こうした「帝国の負の遺産」である典籍を、その収集経緯を論じることなく、「人類の知的遺産」であるという観点から、今日に至るまで丁寧に保存・管理・運用していただいている事に対して、深甚の敬意を表する次第です。

さて、IT環境下における大学図書館の役割は大きく変化しております。電子ジャーナルの普及、所蔵文物のWEB上の公開、インターネットによる検索システム、書物の自動配送・配架システムなどは、その例であります。こうしたIT化の促進を図ることで、「どこでも、だれにも、いつでも、大学図書館の良質な情報サービスが提供され、社会の福祉・文化の増進に寄与する」ことは、今後の大学図書館の重要な使命であります。したがって大学の主役である学生と研究者が図書館将来ビジョンを共有することは言うまでもありませんが、地域住民のみならず国内外の利用者にも広く良質の情報サービスの在り方を検討するために、2003年10月に九州大学附属図書館と台湾大学総図書館の間で図書館間協定を締結しました。この図書館間協定の目的は、「平等と互惠を基本とした交流と相互理解を深めることを目的とし、相互の図書館利用、刊行物の交換、共同開発計画、図書館

刊行賀辭

『國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄』完成編輯，其過程中，九州大學對於調查、研究、善本選定、目錄製作等，都有所貢獻。個人因曾經自1998年起約9年的期間擔任九州大學附屬圖書館館長，心中自有無限的感觸。

臺灣大學所典藏的大部分日本古籍，是日本統治臺灣期間設立的臺北帝國大學所購藏。我並不是要從這一些典籍是因「帝國統治殖民地而留下的遺產」之觀點去談論收集的經過，而是想從「人類知識遺產」的觀點，針對至今尙慎重地保存、管理且進行運用之努力，表達我最深的敬意。

眾所週知，IT環境下的圖書館功能，顯然與過去不同。舉凡電子期刊普及、典藏文物能夠在Web上公開、透過網際網路的檢索系統、書籍刊物能夠自動化地配送以及排架的系統等，都是可見之例。爲了促進此種IT化，今後大學圖書館的重要使命是「不論何時何處，任何人都能獲得大學圖書館提供的優質資訊服務，以增進社會的福祉，並提升文化」。因此，大學主角的學生、研究者等，未來將與圖書館視野一致，這是自不待言的。爲了改善對當地的民眾以及對國內外讀者廣泛提供優質資訊之狀況，九州大學附屬圖書館乃與臺灣大學總圖書館於2003年10月訂定合作協定，此圖書館之間的合作協定旨在「深化基於平等互惠之原則的交流與相互理解爲目的，促進彼此間的圖書館利用、刊物交換、共同開發計畫、以及圖書館職員

職員の交流等について協力を推進すること」にありますので、本目録出版事業への協力は、その図書館間協定の結実の一つだと自負いたします。

『国立台湾大学図書館典藏日文善本解題図録』の刊行は、日本理解、日本研究の促進のために、台湾大学所蔵のリソースを広く公開して、その活用を図りたいと願う呉明德元館長のご英断と、項潔前館長、陳雪華館長のご支援のお蔭であったと聞いております。本書が国内外の多くの方々によって活用されることによって、台湾・日本のみならず世界の Japanology（日本学）研究が進展することと期待しております。

九州大学
総長 有川節夫

之交流」。因此，合作完成本目録之出版，正是落實館際協定上可引以為傲的成果。

『國立臺灣大學圖書館典藏日文善本解題圖錄』之刊行，乃是吳明德前館長為了促進對日本之理解以及日本研究，乃試圖廣泛公開臺灣大學所典藏的資源，使資源能被活用的睿智決斷，以及接續的項潔館長、陳雪華館長之支持，方得以有今日的成果。期望本書能為國內外各界多加活用，而使臺灣、日本、甚至世界各地的 Japanology（日本學）研究能有更進一步的發展。

九州大學
校長 有川節夫

はじめに

九州大学教授 松原孝俊

日本統治期台湾において、勅令 31 号を以て、台北帝国大学が開設されたのは 1928 年（昭和 3 年）である。（註 1）それまで日本国内にあった東京・京都・東北・九州・北海道帝国大学について、日本政府は朝鮮半島と台湾の二地域に、京城帝国大学（1926 年開学）と台北帝国大学の、いわゆる「外地型帝国大学」の開学を許可した。これらの直接的な運営主体は、それぞれ朝鮮総督府と台湾総督府であったが（註 2）、日本政府の帝国大学設置令（1919・大正 8 年 2 月制定、勅令第 12 号）に基づいて設置されたことは言うまでもない。

したがって台北帝国大学に対して、台湾総督府が植民地統治の威信をかけて、膨大な教育投資をおこなった。公式発表こそないものの、新聞報道によると、111 万 7 千余円に達したという。（註 3）その初期投資の大半は、キャンパス購入費と校舎など建設費、教授及び職員招聘費などであったにちがいないが、その中に附属図書館開館費も含まれていた。

言うまでもなく帝国大学の不文律によって、学部講座別にも関連図書・研究資料が備置されたので、1928 年開学時から 1945 年 8 月 15 日までの台北帝大閉校時まで購入・蒐集・寄付された図書の冊数は、諸事情によって正確に把握できない。しかしながら、1945 年 11 月 15 日に台北帝国大学が国民政府代表の羅宗洛（当時、中央研究院植物学研究所所長）らによって接收されたとき、「接收時拠原有記載本館書籍数

前 言

九州大学教授 松原孝俊

1928（昭和 3）年日本治臺時期、日本依第 31 號勅令決定設立臺北帝國大學。（註 1）此前日本國內已設有東京、京都、東北、九州、北海道等帝國大學。日本政府接著又於朝鮮半島與臺灣二地分別准予設立京城帝國大學（1926 年創校）與臺北帝國大學，此二校即所謂的「外地型帝國大學」。其直接的營運主導雖然分別由朝鮮總督府與臺灣總督府司其職（註 2），但其乃是依據日本政府帝國大學設置令（大正 8（1919）年 2 月制定，勅令第 12 號）而設立，此乃自不待言。

臺灣總督府爲揚顯其殖民地統治的威信，於臺北帝國大學投下巨額的教育投資。此雖未正式公告，但據當時之新聞報導，經費高達 111 萬 7,000 餘日圓。（註 3）然初期投資之經費必然有泰半是用於校地購買、校舍興建等之建設費用、以及延請教授與職員等之聘僱費用，但其中還包括附屬圖書館的開館費用。

另外，如眾所週知，於當時帝國大學不成文之共識下，各學部開設的講座，均得購置相關圖書與研究資料。自 1928 年創校至 1945 年 8 月 15 日臺北帝大閉校爲止，該館所購入、蒐集及受贈的圖書冊數，雖因諸多因素無法正確估計，然 1945 年 11 月 15 日臺北帝國大學在國民政府代表羅宗洛（當時任中央研究院植物學研究所所長）等人接收時，有如下報告：

475,000 冊、其中 10,000 冊藏於本館書庫、其余分置各学院及各講座中、此外拋原載所知士林預科有藏書 11,674 冊。」(『国立台湾大学概況』中華民國 36 年 4 月、95 頁)と報告されていることによって、その概略は把握できる。

台湾総督府はその威信をかけて、日本内地の各帝国大学に比べて遜色のない質と量の蔵書を誇る図書館を台北に建設したいと願った。わずか 16 年間の命脈しかなかった台北帝国大学であったが、その間に約 48 万冊の図書を購入・集書したとは驚きである。1 年で平均 3 万冊である。しかしながら、たとえ潤沢な図書購入費があったとはいえ、帝国大学附属図書館であるだけに、その基本方針は「豪華な 1 点買い」とは無縁であった。むしろ台湾大学図書館に残された図書を見る限り、台北帝国大学の直前に設立された九州大学法文学部(1924 年設立)の蔵書構成と酷似していることを考え合わせると、主に教育用基本図書購入に力点を置いた集書方針が立てられた上で、その基本図書購入リストを作成するに当たって帝国大学図書館協議会などの場における情報交換があったと推定してもよいだろう。

ところで、台北帝国大学附属図書館が新設されたとき、ほぼ同一時期に、九州帝国大学法文学部に加えて、1926 年に京城帝国大学が開設されたために、3 帝国大学は競って図書充実に努めることになった。しかも慶応大学や早稲田大学などの私立大学も図書蒐集レースに加わった。(註 4)昭和の初期の古書市場には、各種の文庫が売り立てに出る買い手にとって幸せな時代であった。(註 5)

台北帝国大学附属図書館に所蔵された古

「接收時據原有記載、本館圖書數 475,000 冊、其中 10 000 冊藏於本館書庫、其餘分置各學院及各講座中。此外、據原載所知、士林預科有藏書 11,674 冊。」(《國立臺灣大學概況》中華民國 36 年 4 月出版、95 頁)由此可以大致掌握當時藏書之概要。

臺灣總督府希望能彰揚其威信、在台北建立一個與日本國內各帝國大學相比無所遜色、藏書之質量均足以傲人之圖書館。雖然臺北帝國大學僅存在短短 16 年、但令人驚嘆的是其間已購買收集了大約 48 萬冊圖書、平均 1 年約入藏 3 萬冊。但縱有充裕的圖書購置經費、卻因其為帝國大學的附屬圖書館、其購書的基本方針乃完全排除「購買任何豪華的 1 種」之作法。綜觀留存於臺灣大學圖書館之帝大藏書、其與較臺北帝國大學稍早設立之九州大學的文法學部(1924 年設立)之藏書結構頗為類似；其購藏書籍之方針乃是將重點置於教育用的基本圖書。由此亦可推知、當時製作基本圖書購入清單時、可能曾於帝國大學圖書館協議會等之場合互相交換購書資訊。

另一方面、臺北帝國大學附屬圖書館設立之時、約在同一時期設立的有九州帝國大學文法學部、以及 1926 年成立的京城帝國大學、形成 3 所帝國大學競相努力充實圖書設備之態勢。此外、慶應大學與早稻田大學等私立大學亦加入圖書蒐集之競賽。(註 4)昭和初期的古書市場中、各種文庫是以整批拍賣標售的方式賣出、對購買者而言是幸運的時代。(註 5)

臺北帝國大學附屬圖書館所購藏的一些

典籍は、今日の観点から見れば、当時であってそれほどの高い価値が認定されていなかったものの、現在ではその希少価値ゆえに、台湾大学の至宝となった台北帝国大学旧蔵資料がある。

加えて、台湾大学図書館が現在所蔵する古典籍には、下記のように、戦後に個人所蔵を購入したものもある。

「35年3至12月間、日人陸続遣回、本館曾收購日員私人蔵書七千余冊、其中頗有美本」(『国立台湾大学概況』中華民國36年4月、95頁)

なお、台北帝国大学附属図書館では、その各書籍の登録日時から分かるように、戦火激しい1943年秋に至って、「内地」の諸大学では購入さえ出来なくなったときでも、「外地」にあった台北帝国大学では次々と貴重書を購入していた。連合国軍によって次第にアジアの海上制海権も押さえられ、有力な港には機雷が設置され始めて、自由に航海できない状態であった。しかも日本から台湾への定期船も途絶えがちであったにもかかわらず、東京の反町弘文荘・一誠堂・巖松堂らの著名な古書店の有力な販売先が、台北帝国大学附属図書館であったし、京城帝国大学・満州建国大学であった。こうしてクオリティーの高い典籍集積地が台北に出現した。

ところで1945年以降、台北帝国大学旧蔵の日本語古典籍資料情報紹介に、熱心に取り組んだ研究者に、金子和正氏・鳥居フミ子氏と須田悦生氏がいた。三人による調査結果(旧台湾大学研究図書館所蔵本、現台湾大学総図書館特蔵室蔵本)は、多くの日本文学研究者を驚かせた。改めて三氏の労苦に感謝し、その偉業を賞賛したい。

舊籍、以現在觀點而言、有些當時並未被認定是高價值之藏書，現在卻因為其具有稀有價值，已成為臺灣大學的至寶。

此外，由以下記錄可知，臺大圖書館現在典藏之舊籍圖書，亦有部分是戰後購自私人藏書：

「(民國)35年3至12月間，日人陸續遣回，本館曾收購日員私人藏書七千餘冊，其中頗有美本。」(參閱『國立臺灣大學概況』中華民國36年4月，95頁)

從臺北帝國大學附屬圖書館各冊圖書的登錄時間可以了解，至戰事頻仍的1943年秋天，日本本土的各大學都已無法購置圖書，然而當時境外的臺北帝國大學卻還陸續購買貴重的書籍。當時，聯合國軍隊已經逐漸在亞洲取得制海權，並開始在具戰鬥優勢的港口佈置機械水雷，因此船隻已無法自由航行。而且自日本至臺灣的固定船班亦處於停航狀態。儘管如此，東京反町的弘文莊、一誠堂、巖松堂等著名舊書店，仍得以大力銷售至臺北帝國大學附屬圖書館、韓國的京城帝國大學、以及滿州的建國大學等。因此，使臺北帝國大學得以彙聚眾多品質極佳之書籍。

1945年以後，熱心地就臺大圖書館典藏之臺北帝大舊藏日本古典書籍進行書目資訊之整理介紹者，包括金子和正、鳥居フミ子、須田悦生等研究者。此三位學者係就臺大圖書館的舊研究圖書館之典藏(即現在典藏於臺大新總圖書館善本書庫之書籍)進行調查，其結果令許多日本文學研究者感到驚歎。謹此再次感謝此三位學者之努力並讚揚其偉大功績。

1998年に台湾大学総図書館が新築されたことを契機にして、吳明德館長（当時）の英断と、夏麗月主任（当時）と洪淑芬係長（当時）の適切な指導で、それまで台湾大学全体に分散されて架蔵されていた「和本」の集中化が義務づけられたことによって、仮収蔵されていた和本の山を目の前にしたときの感激と驚きを、私は今も忘れない。

これらの新規収蔵本はもとは台湾大学の各図書分館・図書室から旧研究図書館に移管された図書であったという。移管された後、虫食いの激しいものは別置されたが、これらの本は激しい虫食い状態にあった上に、高温多湿の中で十分な管理がなされなかったために、本の形態をとどめず板状になってしまっている本も少なからずあった。1945年以降、変体仮名で刊行された江戸の俳諧や井原西鶴などの小説類は、台湾の方々に読解も困難であったので、これらの図書利用者が皆無に近くなったからであろう。したがってこれらの和本は破損や劣化が進んでおり、早急な保存策を講ずる必要のあるものも少なくない。

台湾大学総図書館において、和本が一カ所で集中管理保存されることになり、しかも大学内の各機関別に独自に付けられた分類番号の不都合さを顧みて、あらたに特蔵室独自に厳密に「通し番号」をつける作業が実施された。こうした日本古典籍に関する基本方針が立てられたことによって、それまでの配架番号が全面的に改められた。

幸いであったのは、その「通し番号」作業が完了していたために、2000年度に中野三敏九州大学名誉教授を団長とした九州大学調査チームが訪台し、台湾大学総図書館特蔵室所蔵日本語古典籍の悉皆調査に着手した時にも、大きな混乱は発生しなかった。

1998年臺灣大學新總圖書館落成，以此為契機，在吳明德館長（當時）的英明決斷、夏麗月主任（當時）與洪淑芬股長（當時）之適切指導下，努力將分散的日文古籍（「和本」）加以集中。一時之間目睹浩瀚的日文古籍，當時的感動和驚訝，至今仍難以忘懷。

據聞現在典藏於臺大新總圖書館的日文古籍是早年自各圖書分館與圖書室匯集至舊研究圖書館之藏書。移藏至舊研究圖書館之後，臺大圖書館即將蟲損情況較嚴重的書籍分開典藏。被另置一處的書籍因其原本的嚴重蟲蛀，又處於高溫多溼之環境中，未充分管理，故有不少書籍面貌全非，也有不少書籍已經硬化成書磚。此或許因為以變體假名出版的江戸俳句詩歌和井原西鶴等之小說類圖書，在1945年以後，對臺灣讀者而言解讀較困難，所以幾無讀者利用該等圖書之故。該批日文古籍中，包含不少因破損狀況與逐漸劣化之虞而亟需及早研擬保存相關對策之圖書。

臺大新總圖書館除了將日文古籍匯集於一處保存管理，又因有鑑於原來典藏之圖書分館、圖書室等各自編製的分類號碼不一致，不便統整，乃由特藏組重新嚴謹地編製「流水編號」。此編號基本方針之確立，有助於全面統整更新各書籍之排架編號。

因為「流水編號」作業完成之故，2000年以後，當九州大學調查團於團長九州大學名譽教授中野三敏教授率領下至臺大圖書館就特藏組的日文古籍典藏進行全面性的調查時，方不致造成太大的混亂。根據截至2008年度為止的調查記錄，在臺大圖書館進行書

それ以降、2008 年度に至るまでの調査記録によれば、調査人員は延べ人数約 58 名、総滞在日数は約 270 日を要した。調査によって作成した書誌レポートは旧台北帝国大学本・現台湾大学総図書館特蔵室所蔵の和本約 2 万冊が含まれている。

2003 年の初めごろ、台湾大学元図書館長 吳明德先生との懇談の中で、館長は九州大学調査チームに同館所蔵日本典籍善本解題図録作成を提案してくださった。嬉しい提案であった。すぐさま中野教授と相談して、我々の陣容で可能かどうかを慎重に検討した結果、編集に時間を要するものの、必ずしも困難ではないという見通しが立った。文部科学省科学研究費の交付によって、松原調査団の調査費用の捻出にも希望の光が見えたからである。

早速、中野教授に台北に飛んでいただき、まず上記の 2 万 2 千冊余りの台湾大学図書館所蔵典籍の中から、

- ① 九州大学など旧 7 帝国大学付属図書館間に文書化された統一基準はないものの、スタンダード化された貴重書に合致するもの
- ② たとえ稀覯本であったとしても、虫損や高温多湿で保存状態が悪い場合は、貴重書に指定しないこと。
- ③ 中野三敏教授お一人の基準で定めることで、複数の専門家によるバラ付きのある選定基準の弊害を避けること

をお願いして、台湾大学図書館所蔵の善本（貴重書）を選定していただいた。中野教授は広い書庫の中で 1 冊 1 冊を手に取りながら、精力的にほぼ 2 万冊を通覧してくださった。その横で共に貴重書選定に携わりながら、私はあれこれとその本の伝来と価値に関

目調査者共計約有 58 人次、停留總天數計約 270 天。如此調査而製作之報告，共包含舊臺北帝國大學藏書，亦即現在臺大圖書館特藏組所典藏之日文古籍約 2 萬餘冊之書目。

2003 年年初，臺大圖書館前吳明德館長於一次的懇談中，建議九州大學調查團製作該日文古籍典藏之善本解題圖錄。這是令人感到欣喜的提案，因此旋即與中野教授研商，謹慎評估我方人力陣容是否可能達成任務。結果認為，此在編輯上雖然費時，但應不致於太困難。而另一方面因文部省科學研究費之資助，亦使松原調查團在調查經費之籌措方面有了希望。

因此，當時立即敦請中野教授飛抵台北，首先自上述臺大圖書館典藏的 2 萬餘冊典籍中遴選善本書；遴選之考量包括：

- ① 雖然九州大學等 7 所舊帝國大學附屬圖書館之間無統一正式成文的貴重書之判定標準，但對於符合一般認知上之貴重書標準條件者，即予以收錄為善本。
- ② 縱使書籍本身為罕有本，但若已因嚴重蟲損或高溫多濕之故致使書況惡劣，將不列入為善本。
- ③ 以中野三敏教授一人之基準判定所將收錄於本書中之善本，避免因多位專家見解歧異而使選擇標準產生紛然之弊。

中野教授於浩大的書庫中，以無比的精力一冊一冊地經手過目，共瀏覽了 2 萬餘冊。此過程中本人一直在中野教授身旁協助，同時也得以獲中野教授獨門傳授各種知識以及一些書籍之由來與其價值。如此共計

する中野教授の個人レッスンを受けることが出来た。その珠玉の典籍は、118 点。

善本候補書が選定できたので、つぎはその書誌事項調査に当たる専門家を日本から台北に派遣した。善本調査団の構成は、中野門下の宮崎修多（成城大学教授）・入口敦志（国立国文学研究資料館）・亀井森（佐賀大学地域学歴史文化研究センター）の3氏に加えて、近世文学の花田富二夫教授（元大妻女子大学）と和田恭幸氏（国立国文学研究資料館→花園大学→龍谷大学）、そして若手平安文学研究者の藤島綾氏（国文学研究資料館国文学文献資料調査員）、さらには沖縄関係資料の専門家として漢那敬子氏（沖縄県文化振興会史料編纂室主任専門委員）の7名であった。1冊に当たる書誌調査の所要時間は、いくらあっても足らなかった。

118 点の書誌調査が終了した段階で、次は各先生に解題の執筆をお願いした。400 字から 800 字程度の字数制限をつけたので、諸先生方も苦労なさったにちがいない。

すべての原稿が出揃って、それを入力した後でも、総点検の意味で、中野教授は全点を1冊1冊ずつ丁寧に再点検してくださり、記述や用語、文体などの統一や文章整備までもしてくださった。自信を持って、国内外の専門家に台湾大学図書館所蔵善本目録を提供したいからである。

本善本目録編集に関する研究調査は以上のとおりであるが、それで全てが終わったわけではないこともよく知っている。台湾に設立された各種図書館所蔵残置本の現状把握に努めると共に、所蔵者の意向を十分に尊重しつつ、永く伝来させるための整理保存修理の方策を立てることも、我々の責

務選出珍本 118 種。

善本書選選完成之後，其次就需自日本派遣可協助調查書目相關資料的專家至台北。善本書目調查團成員包括曾受業於中野教授的宮崎修多（日本成城大學教授）、入口敦志（日本國立國文學研究資料館）、龜井森（日本佐賀大學地域學歷史文化研究センター）等三位專家、近世文學的俊材花田富二夫（原日本大妻女子大學教授）和田恭幸（日本國立國文學研究資料館→花園大學教授→龍谷大學）、平安文學研究之新秀藤島綾（国文学研究資料館国文学文献資料調査員）以及沖縄相關資料專家漢那敬子（日本沖縄縣文化振興會史料編纂室主任専門委員）等共計7名。對於每一冊書籍，在書目資料的調查方面，實在深感時間上的不足。

118 種書籍の書目調査完成後，其次是懇請參與的各位學者專家執筆撰寫解題。每一種善本之解題以 400 字至 800 字為限，此對執筆的各學者而言，必然也十分難為。

至彙集所有的原稿並完成打字之後，爲了作整體之檢查，中野教授又一冊一冊地就各善本的所有事項進行檢查；不論是記述方式、用語、文體等之一致性，或文章之妥善完備性等，都逐一檢點。此乃是基於要以十足的把握，爲國內外專家學者提供臺大圖書館典藏之善本圖錄的理想。

有關此一『日文善本解題圖錄』之研究調查過程已如上述。但是我們亦深知，此並非全部工作之完成。我們責無旁貸的是，除了還需充分調查了解零散典藏於臺灣各圖書館的日本古籍之現況外，同時也應在充分尊重典藏者之意願的情形下，尋求可以使此等

務であると信じる。

調査研究に当たり、多くの方々の協力をえることができた。お一人お一人の名を上げることは差し控えるが、編集作業の苦労を愚痴を言わずに黙々と勤めてくれた樋口晶子氏と鈴木久恵氏には特記して感謝したい。そして、私たちの円滑な調査に最大限の我が儘を許してくださった台湾大学図書館と特蔵室スタッフ全員の理解と熱意に、この場を借りて深謝したい。

資料永久流傳の整理保存與修復之方策。

本研究調査工作進行之際、曾獲許多人士之協助，在此無法一一備載。然特別值得一提並感謝的是不辭編輯作業辛勞，無所怨言地默默耕耘的樋口晶子小姐與鈴木久惠小姐。同時也要感謝臺大圖書館與相關工作同仁在合作過程中，給與最大的協助與方便，使調查得以順利進行，謹藉此對其理解與熱忱致上最深摯的謝意。

(註1) 台北帝國大學設立に関しては、次の資料参照のこと。

久保島天麗編『臺灣大學設立論』臺灣大學期成同盟會、1920年

吳密察ほか「植民地大学とその戦後」『記憶する台湾』東大出版会、2005年

(註2) 昭和3年3月制定の勅令30号「台北帝國大学に関しては帝國大学令に依るの件」の本文には、「台北帝國大学に関しては帝國大学令に依る但し同令中文部大臣の職務は台北總督之を行ふ」とある。

(註3) 「濫費的台湾大学」『台湾民報』第252号、1929年3月17日付け。

吳密察ほか「植民地大学とその戦後」『記憶する台湾』東大出版会、2005年332頁

(註4) 「国立台湾大学図書館之發展及藏書狀況」『書和人』第58期、中華民國56年、5-8頁

例えば、慶應大学は1930年に「小山内薫旧蔵、洋四千冊、和漢二千冊、計六千冊」を購入した（「慶應義塾図書館史」1972年1月、<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/history/history.html>）

(註1) 有關臺北帝國大學的設立，請參閱以下資料：

久保島天麗編，『臺灣大學設立論』（臺灣大學期成同盟會，1920年）。

吳密察合著，「植民地大学とその戦後」，『記憶する台湾』（東大出版會 2005年）。

(註2) 昭和3年3月制定之敕令30號爲「有關臺北帝國大學係依帝國大學令之案」，其原文記載如下：「臺北帝國大學係依據帝國大學令，惟該令規定文部大臣之職務由臺灣總督司其責」。

(註3) 「濫費的台湾大学」，『台湾民報』第252號（1929年3月17日）。

吳密察合著，「植民地大学とその戦後」，『記憶する台湾』（東大出版會，2005年，332頁）。

(註4) 「国立臺灣大學圖書館之發展及藏書狀況」，『書和人』第58期（中華民國56年，5-8頁）。

例如，慶應大學1930年購買「小山内薫舊藏，外文書4,000冊、和漢書2,000冊，合計6,000冊」（「慶應義塾圖書館史」1972年1月、<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/history/history.html>）

(註5) 台北帝国大学の購入した各文庫について、次の文章が参考できる。

『台北帝国大学文政学部 史学科研究年報』第1輯、1934年、460頁

“catalogue de la bibliotheque de feu

Clement Huart” **Bibliograohia**

Taihokuna No1, (Taihoku Imperial

University Library, 1930)

『国立台湾大学概況』国立台湾大学、中華民國36年、95-97頁

『書和人』「国立台湾大学図書館之發展及藏書狀況」第58期、中華民國56年、5-8頁

『国立台湾大学図書館田中文庫藏書目錄』台湾大学図書館、1998年

(註5) 有關臺北帝大購入之各文庫可參閱以下資料：

『臺北帝國大學文政學部史學科研究年報』第1輯（1934年，460頁）。

“catalogue de la bibliotheque de feu

Clement Huart” **Bibliograohia**

Taihokuna No1, (Taihoku Imperial

University Library, 1930)

『國立臺灣大學概況』（國立臺灣大學，中華民國36年，95-97頁）。

「國立臺灣大學圖書館之發展及藏書狀況」，『書和人』第58期（中華民國56年，5-8頁）。

『國立臺灣大學圖書館田中文庫藏書目錄』（臺灣大學圖書館，1998年）。

台湾大学総図書館蔵善本： 日本文学関係概説

九州大学名誉教授 中野 三敏

台北帝大時代に於ける和古書収集の経緯については、松原氏の紹介に記述される所なので、ここでは、その現況内容に関する若干の解説を試みる。

第一に、今回調査し得た和古書は、およそ2千点、2万余冊という数にのぼる。その全体に関しては、既に簡略な総目録『台湾大学所蔵日本古典籍調査』が報告されているので、御参照願ひ度いが、上記の数字は、それが台湾大学現蔵和古書の凡てというわけではなく、猶未調査の物も多く、例えば漢籍類を唐本として分置されているものの中にも、相当な数の和刻本が含まれていたり、旧史学、民族学研究室に分置されていたと思はれるものの中に、漂流記や紀行等の写本類が大量にあったりする。従って今回の調査は、要するに台湾大学当局に依頼された調査範囲の中に於ける、特に国文学及び沖縄関係資料の貴重書目の報告であることを、まずは御諒承戴き度い。

第二に、高温多湿という風土気候のしからしむる所として、しかも戦後数十年にわたる、殆ど密封状態とも言うべき状況の為に、和本、特に楮紙系の書籍の大半が甚大な虫損の被害にあっているのが、当然貴重書として認定すべき書物も、余りに虫損の激しい物については、割愛せざるを得なかった。また認定した書物も、おおむねその害を被っているが、猶、現況に応じて、十分資料としての価値を持つ物に限り、それを撰択したつもりである。この点も又、合わせ御諒承戴きたい。

臺灣大學圖書館典藏善本： 與日本文學之相關性概説

九州大學名譽教授 中野 三敏

關於臺台北帝大時代收集日文古籍の経緯，松原氏文中已有介紹。在此僅將就此批書籍の現況與內容加以解説。

一、此次査閲之日文古籍，共約2千種計2萬餘冊。有關該批書籍之整體情形，在較簡略の總目錄『臺灣大學所蔵日本古典書籍調査』中已曾介紹，敬請參照。但是，前述所提之數字，並非臺灣大學目前收藏の全部的日文古籍，事實上還有甚多古籍未在此編輯過程中一併査閲。例如被視為中文類而陳列於別處の書籍中，其實亦包含相當數量の和刻本。而過去分別典藏於史學、民族學之研究室の書籍中，也有漂流記或紀行等爲數頗多の日本古寫本。故本次爲編輯善本解題圖録而進行調査之結果，主要是於臺灣大學圖書館所委託選書の典藏範圍內，特以日本國文學（按：含文學、史學）以及與沖縄相關の珍貴資料爲報告內容，此點尙祈諒涵。

二、該批書籍過去の典藏環境高温多濕，而且戦後數十年來，一直處於幾近密封の狀態。日文古籍中，尤其是楮紙類の書籍，有一大半遭受極大の蟲損之害。一些本應列爲珍善本の書籍當然也無法倖免。對於蟲損過於嚴重の珍貴圖書，在遴選時不得不割愛。而被選入本圖録中の書籍，也有不少亦受蟲損之害，但因資料本身十分具有價值，故亦將之選入。此點亦希讀者理解。

第三に旧台北帝大は、極めて愛書家的資質の教授陣に恵まれていたものの如くであり、しかも、その購入予算に関しても、内地の大学と比べた時、明らかな優遇措置がとられていた。その結果、一大学としては異例とも言うべく、稀書・良書の数々が集められる結果となっている。特に仮名草子・浮世草子・演劇関係書など、江戸期俗文芸に関する集書にその痕跡は歴然たるものがある。今回、そのうちの極めて多くの書籍を、前述の通り、虫損の故を以て、割愛せざるを得なかったが、以ってその価値の如何を量り知るべきかと思う。

そもそも 現蔵本中の纏った集書としては、第一に桃木武平文庫の 570 点・4900 冊、第二に長澤伴雄文庫の 485 点・1073 冊、第三に上田万年文庫の 283 点・530 冊等がある。

桃木武平氏は生年卒年等の詳細は不明であるが神戸の海運業者と言われ、神戸市議会議員も務め、蔵書家として知られ、明治 36 年（1903 年）10 月に神戸に「桃木書院図書館」を設立した。この桃木書院の蔵書の一部は、現在神戸市立図書館にも見ることができるが、台北帝大には、一時京都帝大に依托保管されていたものが、昭和 4 年に神戸の白雲堂の手を経て購入された。特に紀・記類の古写本に尤品が多く、今回その内、室町から江戸極初期にかけての写本 9 点を撰んだ。これ等は殆んど虫損もなく、今日録中第一の尤品といえるものと思う。

長澤伴雄は紀州和歌山藩士。本居大平の門に学び、幕末本居派国学者中の俊秀として知られた。歌人としては類題集の編刊にその名を残すが、藩政紛糾により獄に下り、安政 6 年 11 月、自刃して果てた。蔵書印に

三、舊臺北帝大有幸得有別具「愛書家」特質的教授群、而且，在購書預算方面，也明顯地較日本國內大學優渥。結果使臺北帝大成為大學中的特例，得以收集到許多珍罕佳觀；假名草子、浮世草子、演劇類圖書等江戸時期通俗文藝類相關資料的藏書，即歷歷呈現了當時購書預算豐厚之事實。該類圖書中，雖有甚多因前述的蟲損之故而不得不割愛者，但由本書遴選之例，應可窺知該批典藏之價值。

本次選書範圍內的日文古籍，包含三個完整的文庫，一者是桃木武平文庫，計含 570 種共 4900 冊；一者是長澤伴雄文庫，計含 485 種共 1073 冊；一者是上田萬年文庫，計含 283 種共 530 冊。

桃木武平生卒年不詳，一說是神戸の海運業者，亦曾任神戸市議會議員，以藏書家而知名。其於明治 36（1903）年 10 月於神戸設立「桃木書院圖書館」。桃木書院當時之藏書有一部分現藏於現在的神戸市立圖書館。該書院另一部分的藏書原來委託京都帝大暫時保管，臺北帝大於昭和 4 年經由神戸の白雲堂購入該批藏書。桃木文庫中尤多紀、記類古寫本之珍善本。此次自其中挑選 9 種室町時期至江戸時期之寫本。此等寫本幾乎完全未遭蟲損，或可說是本圖錄中屬一屬二的尤品。

長澤伴雄是紀州和歌山藩士。師承本居大平門下，是幕府末期知名的本居派國學俊秀。長澤氏以歌人之身份，因編輯刊行「類題集」（按：彙集相同主題之和歌於一處之冊集）而留名。其因藩政糾紛而入獄，於安政 6 年 11 月自刃身亡。長澤文庫圖書亦因部分